

日本共産党市議員団ニュース

2013年 6月④ 459号

議員団HP <http://jcpatsugi.blog.shinobi.jp/>

今週の活動から

本厚木駅周辺は路上喫煙禁止です。条例制定後は、喫煙者が激減しました。今後は「客引き防止条例」が制定されます。

(上: 釘丸久子議員)



中町2丁目駐輪場は、放置自転車対策として



設置されました。2・3階の定期利用は満車、1階の一時利用は2時間まで無料です。
(下: 栗山香代子議員)

自由民権運動史への招待～福島そして厚木～

講演・安在邦夫氏（早稲田大学教授）

6月17日(月)、厚木市文化会館で、厚木革新懇による「講演と懇談のつどい」が開かれました。講師に早稲田大学名誉教授の安在邦夫氏を招き、「自由民権運動史への招待―福島そして厚木―」と題して90分の講演がありました。

憲法制定、国会開設を求めて

自由民権運動は、1874(明治7)年の板垣退助らによる「民権院設立の建白」を契機に起き、1893年ごろまで続いた国民的運動です。憲法の制定、国会の開設、地方自治、地租軽減、条約改正などを目標に運動が展開してきました。

これらの運動により、その後の



福島・浪江町で配布された防護服

日本の人権、政治、文化、教育などに大きな影響がありました。

しかし、それ以前から、日本国内では天皇中心の明治憲法から、国民のための憲法に変えようとする案がいくつもつくられていたのです。1867年の坂本龍馬の「船中八策」は有名ですが、それだけではありませんでした。そして、その後もたくさんの憲法草案がつけられたのです。

自由民権期の民間の憲法起草運動が、現憲法につながっています。現憲法がアメリカからの押し付けだと言った改憲論者がいますが、資料の中で「それまで国体護と盛んに言っていた連中、占領軍に対して何のレジスタンス的闘争をやらずに生き残っていた軍部・右翼の勢力にとっては無念残念、まさに“押しつけられた”のだ」との言葉がありました。これは戦後、最も早く、憲法草案に、「不戦、武力の不保持」の案文を入れた憲法学者・鈴木安蔵氏の言葉です。

現在の改憲論には、「戦前」への回帰志向がはっきりと見えています。

原発反対は現在の自由民権運動

安在氏は福島に住んでいたことから浪江町の事情にも詳しく、「福島第一原発『事件』」は報道されるのが少なくなったが、実態はますますひどいものになっている」と。原発は沖縄政策と同じで、

犠牲をつくることで、他の豊かさをつくるシステムであること、を言われました。福島でも自由民権運動が盛んでしたが、その子孫が今の原発反対運動をやっています。その人の「原発反対は現在の自由民権運動です」との言葉に、歴史の連続性を感じました。

6月議会 最終日

6月25日(火) 議会運営委・本会議
ぜひ、傍聴においでください。

厚木でも、自由民権運動が活発に行われていました。中荻野の戒善寺には「自由民権の里」の碑があります。歴史に学び、それを現代に生かすのが、後世に生きる私たちの務めだと実感しました。

市民による、学習会が盛んに行われています。その一つ一つが、行政に市民がどう関わるか、市民協働をどう進めるかを考える絶好の機会です。

今回の自由民権の学習会は、歴史の中で厚木を見つめる新たな視点になりました。

話題あれこれ

恩曾川にホタルが
各地でホタル見学会が開催されています。

恩曾川にもホタルがいました。地域の自治会長から「高坪親水公園付近に10匹位飛んでいる」という話を聞き、出かけました。

なかなか見つからず諦めかけていた時、川の土手付近で、ポツと光りました。緩やかに光の筋を引きながら、上流に向かっていきましました。一匹だけでしたが、「アッ、ホタル!」とすぐわかり、存在感があります。これが10匹も飛んでいたらすごいでしょうね。

この時期のホタルは大型の「ゲンジボタル」。きれいな川でカワナを食べて育ち、飛び方は曲線的で、恩曾川をきれいにする会の人たちの努力のおかげです。一方、ヘイケボタルは田や沼など止水で生育し、タニシやモノアラガイを食べ、飛び方は直線的で、